

# 令和3年度

## 事業報告書

### 社会福祉法人 雄和福社会

- ・ 特別養護老人ホーム花の家
- ・ 花の家短期入所生活介護事業所（短期入所介護予防事業）
- ・ ケアハウス花の家
- ・ デイサービスセンター緑水苑（第一号通所事業）
- ・ 花の家訪問介護事業所（第一号訪問事業）
- ・ 花の家居宅介護支援事業所
- ・ 雄和地域包括支援センター緑水苑
- ・ 食の自立支援事業（配食サービス）
- ・ 郊外型はつらつくらぶ事業
- ・ 高齢者生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）

## 【法人総括】

新型コロナウイルスの終息が見えない中、当法人も利用者及び職員数名が陽性となった。幸いクラスター事案にはならず全事業所に注意喚起を行い、引き続き感染予防に努めている。またオンラインにより面会や研修が可能となり、積極的に活用、実施している。

職員の処遇改善にも取り組んだ。国も介護職員賃上げのため、新たに介護職員処遇改善支援補助金が創設され、当法人も申請を行い、対象事業所職員へ支給した。またこれまでの介護職員処遇改善、特定介護職員等処遇改善も介護職員に限らず、その他の職種にも年度末に一時金を支給した。今年度、職員からの意見や提言等募集し、それらに基づき各事業所・各部門で抱えている悩みや課題について相談や検討を行い、働きやすい環境作りに取り組む専門部会を設置した。今後も人材確保のため職員の処遇改善に取り組んでいきます。

経営面では法人の大きな柱となる特養及びデイサービスの実績が振わなかった。理由として特養は入院者数、併せて入退所数も多かった。またデイサービスは昨年度とは一変し、複数回利用者の入院、入所等による実人員減少によるものである。また世界情勢等により燃料費高騰、それに伴い電気料金も割高となり大幅に経費負担が増加した。将来的に安定した経営を考えコスト削減はもちろん、秋田市から公募のあったショートステイから特養への転換へ応募した。令和4年3月1日から特養定員50名から58名へ定員増となり、ショートステイ定員を15名から7名に減らしたことにより希望する日にちに定員に足りず希望する日にちに応じられないケースも生じているが、特養定員を増やしたことは財政でも今後に関与すると考える。

## 【重点事項】

### (1) 感染症及び災害対策と安定したサービス提供

ショート利用者や職員に新型コロナウイルス感染症による陽性が若干いたが、クラスター事案には至らなかった。

### (2) 人材確保・定着及び育成

ハローワークや人材紹介会社を活用しながら補充に努めた。まだ補充出来ない職種もあるので令和4年度も引き続き確保に努める。職員の処遇改善として介護職員処遇改善加算の他に介護職員等特定処遇改善加算も取得している。新たに介護職員処遇改善支援補助金による賃金改善も行った。介護職員以外の職種に対しても処遇改善として一時金（3月30日支給）を支給した。

### (3) ICT化への取組や職場環境改善

オンラインでの面会や研修の受講や業務省略のため介護記録のICT化を検討。事前準備として特養全館のWi-Fi環境を整備した。

### (4) 適正な法人運営

任期満了に伴う役員及び評議員の選任について適正に延滞することなく実施し、法人運営に対しても理事、監事及び評議員の意見を反映させた。

## 法人運営（理事会・評議員会等）

### 1 理事会（計4回）

第1回 令和3年6月8日

- 議案・令和2年度事業報告の承認の件  
・令和2年度決算報告の承認の件  
・令和3年度第一次資金収支補正予算（案）の件  
・定款施行細則の一部改正の件  
・役員任期満了に伴う次期選任候補者の推薦に関する件  
・評議員選任・解任委員会の任期満了に伴う次期委員選任の件  
・令和3年度定時評議員会の開催に関する件

第2回 令和3年6月23日

- 議案・理事長の選定の件  
・業務執行理事の選定の件  
・評議員の任期満了に伴う次期選任候補者の推薦に関する件

第3回 令和4年2月22日

- 議案・特別養護老人ホーム花の家運営規程の一部改正の件  
・花の家短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正の件  
・ケアハウス花の家運営規程の一部改正の一部改正の件  
・デイサービスセンター緑水苑運営規程の一部改正の件  
・花の家訪問介護事業所運営規程の一部改正の件  
・花の家居宅介護支援事業所運営規程の一部改正の件

第4回 令和4年3月16日

- 議案・令和4年度第二次資金収支補正予算（案）の件  
・令和4年度事業計画（案）の件  
・令和4年度資金収支予算（案）の件  
・育児・介護休業等に関する規程の一部改正の件  
・給与規程の一部改正の件  
・令和3年度臨時評議員会の開催に関する件

### 2 評議員会（計2回）

定時評議員会 令和3年6月23日

- 議案・令和2年度決算報告の承認の件  
・令和3年度第一次資金収支補正予算（案）の承認の件  
・役員任期満了に伴う選任に関する件

臨時評議員会 令和2年3月25日

- 議案・令和3年度第二次資金収支補正予算（案）の承認の件  
・令和4年度事業計画（案）の承認の件  
・令和4年度資金収支予算（案）の承認の件

- 3 監査会 (計2回)
- 日時 令和3年5月25日
- 事項・令和2年度事業報告について
- ・令和2年度計算関係書類及び財産目録について
- 日時 令和3年10月27日
- 事項・令和3年度上半期事業報告について
- ・平成3年度上半期計算関係書類について
- 4 実地指導等
- (1) 令和3年度秋田市社会福祉法人指導監査
- 日時 令和3年9月9日
- 対象 社会福祉法人雄和福祉会
- (2) 令和3年度秋田市介護保険施設等実地指導
- 日時 令和3年12月22日
- 対象 花の家訪問介護事業所 (訪問介護)
- デイサービスセンター緑水苑 (通所介護)
- 花の家短期入所生活介護 ((介護予防) 短期入所生活介護)
- 特別養護老人ホーム花の家 (介護老人福祉施設)
- 5 役員研修
- (1) 令和3年度福祉施設・事業所のトラブル対応オンラインセミナー
- 期 日 令和3年10月22日
- 場 所 オンライン
- 参加者 佐々木理事 (施設長)
- 6 運営会議 (毎月1回開催)
- 7 法人の委員会
- (1) サービス向上委員会 (計2回)
- ・令和3年6月11日
- 令和2年度後期の苦情に関する状況報告と意見交換
- ・令和3年11月5日
- 令和3年度前期の苦情に関する状況報告と意見交換
- (2) 衛生委員会 (計10回)
- 令和3年度から産業医と契約。安全管理や法人職員の健康管理等について委員会を毎月開催。
- (3) 専門部会 (計6回)
- 各事業所及び部門の悩みや課題について職員からの提言、意見等を相談や検討する部会を新たに設置。

- ・職員向けカフェの開催（令和3年11月30日）

（4）広報委員会

広報発行

- ・令和3年7月15日 「花の家だより」34号発行 2,100部
- ・令和4年2月3日 「花の家だより」35号発行 2,100部  
（雄和地域全戸配布、関係機関や福祉施設等に送付）

7 職 員 (R 4 年 3 月 31 日)

職 種	特養	短期 入所	ケア ハウス	通所 介護	訪問 介護	居宅介 護支援	包 括 支 援 セ ン タ ー	合 計
管 理 者	1		(1)	1	1	1	1	5 (1)
事 務 員	4		(1)	0	0	0	1	5 (1)
相 談 員	1		1	1 (2)	0	0	0	3 (1)
介 護 職 員	25		1	7 (1)	2 (1)	0	0	35 (1)
看 護 職 員	5		0	2	0	0	0	7
機 能 訓 練 指 導 員	(4)		0	(2)	0	0	0	(6)
管 理 士 栄 養 士	1		(1)	0	0	0	0	1 (1)
主 任 介 護 支 援 専 門 員	1		0	0	0	3 (1)	1	5 (1)
介 護 支 援 専 門 員	0		0	0	0	1	0	2
保 健 師	0		0	0	0	0	(1)	(1)
社 会 福 祉 士	0		0	0	0	0	1	1
技 能 員 等	4		1	4	0	0	2 (1)	13 (1)
宿 直 員	3		0	0	0	0	0	3
登 録 ヘルパー	0		0	0	2	0	0	2
嘱 託 医	1		0	0	0	0	0	1
合 計	46		3	15	5	5	6	80
※参考 R3 年 3 月	48		3	15	5	5	6	82

・ ( ) 兼務職員

・ 令和4年3月末

介護職の介護福祉士取得率 (特養 96%、通所 66%、ヘルパー40%)

法人の介護支援専門員資格保持者 (特養 5 名、居宅 5 名、包括 3 名、デイ 2 名)

## 特別養護老人ホーム花の家（短期入所生活介護事業所含む）

### 【総括】

稼働率 94.2%と目標数値の 98%には届かなかった。入所者 26 名（短期から特養への転換により定員増）、退所者 20 名と昨年度よりも多かった。空床期間短縮を念頭に入退所調整したが、昨年度より新規入所までの日数がかかったのは、退所による空床枠を短期入所利用の希望があり、そちらを優先したため新規入所が遅れた。入院者数は年度通して多く、延べ 33 名だった。入院の理由として誤嚥性肺炎や元々の基礎疾患の悪化によるものである。退所者 20 名のうち、施設での看取りの方が 10 名、医療機関で亡くなった方が 4 名。残りの 6 名の方は転院による退所で常時の点滴や酸素投与等の医療行為が必要となり転院となった。

短期入所事業は 1 日平均 14.0 人（稼働率 95.0%）で目標数値 1 日平均 13.0 人を達成することが出来た。長期利用者の受け入れと特養の退所や入院による空床を利用し、稼働率を維持することが出来た。また、3 月より短期入所 8 床を特別養護老人ホームへ転換。特養定員 58 名、短期入所定員 7 名となり今後もよりいっそう稼働率の安定に努めていきたい。

面会に関しては昨年度同様に新型コロナウイルス対策として予約制とし、リモート面会等で感染予防対策に努めた。

### 【重点事項】

#### （1）利用者に寄り添ったサービスの提供

利用者や家族の意向を確認し、サービス担当者会議を定期的（年 2 回）に開催。その他にも介護保険の更新や退院時、状態悪化時にも随時開催。アセスメント、モニタリングを行い、ケアプラン作成や各部門との連携、協同により利用者に寄り添った支援へ繋げる事が出来た。新規入所の際には利用者や家族に丁寧な説明を行い、不安の無いように新規入所に繋げることが出来た。

終末期における支援として、利用者及び家族の要望に沿えるように出来る限り対応した。今までの生活を変えることなく、他の利用者がいる中で見守りを行い、穏やかな最期を迎えられるように支援することが出来た。家族への支援としてコロナ禍ということもあったが面会時間外でもいつでも面会に応じる事や宿泊準備を整えていることをお伝えし、安心して頂けるように努めた。最期に立ち会われた家族からは暖かい言葉を頂戴した。利用者だけでなく家族に対しても身体的、精神的負担の軽減に努める事が出来た。

科学的介護情報システム（LIFE）については、加算要件を満たしている栄養マネジメント強化加算及び科学的介護推進体制加算を毎月情報提出により取得することが出来た。また、フィードバックをサービス担当者会議で活用し、よりよい支援につなげることが出来た。

#### （2）事故防止と感染症対策に努める

ヒヤリハット・事故報告を基に委員会で検証、再発防止に努めた。特養で骨折事故が 2 件、短期入所で 2 件発生。原因としては自らの歩行時による転倒やベットからの滑落、骨粗鬆症による骨折と様々であった。職員には一つひとつ

の動作を確認し支援にあたるように注意喚起をした。その後は行政機関や加入している保険会社に速やかに報告。また、医療機関とも連絡調整を行った。

新型コロナウイルス関連ではオンライン面会の実施が中心となったが、感染状況が落ち着いた時期には期間限定で直接面会を実施。しかし感染拡大により再びオンライン面会としている。しかし特例で利用者の100歳のお祝いや自宅への外出を実施。感染予防対策を行ったうえで家族、利用者状況に合わせて臨機応変に対応した。3月に短期入所利用者より新型コロナウイルス罹患者が1名発生したが、他利用者及び職員の罹患者はおらず、広がることなく終息出来た。

今回新型コロナウイルス罹患者への対応で見えてきた反省等を踏まえ、マニュアルの見直し、内部研修や申し送り等で職員に意識付けや対応力の強化に努めていきたい。

### **(3) 専門職としての責務と人材育成**

新型コロナウイルスの影響で中止になった外部研修が多かった。一部の研修はオンラインでの開催となっており、タブレットやWi-Fi等環境を整え、積極的に研修参加を促している。また施設内研修として毎月の職員会議での研修や接遇マナーの研修会を開催。職員としての質の向上に取り組むことが出来た。

日常の業務記録、ヒヤリハット、事故報告書、会議録、復命報告書において、書く力を身に付けるよう機会を設けた。記録提出期日、一覧表を設ける事で職員への意識付けをしたが、期日まで提出の出来ない職員もいるので指導改善に努めている。

医療的ケア（痰の吸引と胃瘻による経管栄養）では、安全に実施する為に委員会での確認を行った。実地研修は、今年度指導看護師を1名擁立出来、研修が以前よりスムーズに行えている。未修了者4名おり、来年度は未修了者の修了を目指したい。

今後も看取り介護を希望される方が増えていく中で、ご利用者の状態観察や引き継ぎが重要な部分を占めていく為、職員間での指導や情報交換を密に行っていきたい。

職員自ら専門性の向上を目指し、利用者、家族からも信頼される職員となるように努めていきたい。

### **(4) 非常事態発生時の危機管理に努める**

防災訓練は年間計画通りに実施。夜間想定避難訓練は消防署員の立会いはなかったが、程良い緊張感を持って取り組むことが出来た。土砂災害想定避難訓練では体調不良者を除く全利用者を1次避難場所である交流スペースへの避難誘導を行った。実際に誘導してみて待機スペースの状況などを確認することができ、次のステップに繋がる訓練となった。また、近隣自治会からも参加してもらうことができ、協力体制を築くことが出来た。

### **(5) 稼働率の安定を図る**

今年度は退所者数20名、入院者数延べ33名と前年度より退所は多かったが入院者数は少なかった。また、新規入所までの期間短縮を意識しながら受入れ



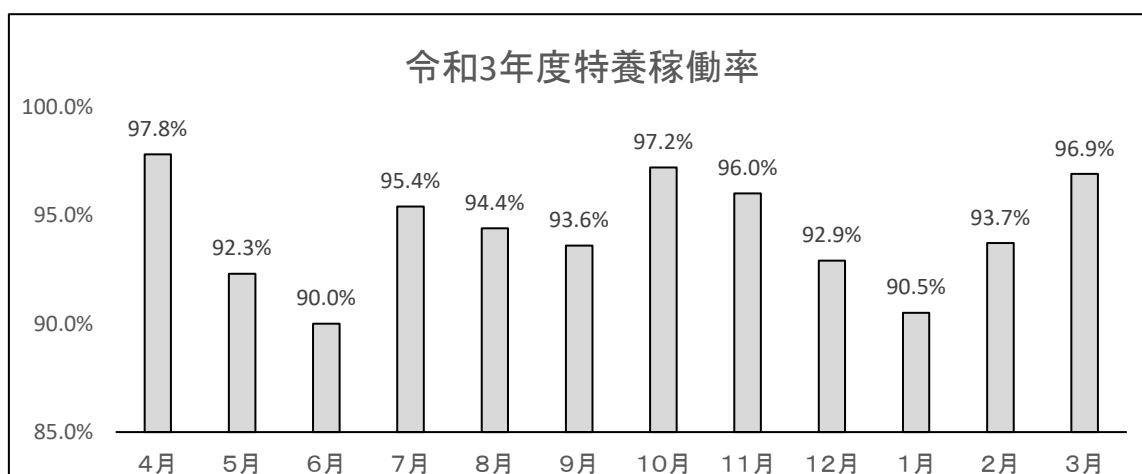
を進めたが、平均空床日数が昨年より長くなってしまい年間稼働率 94.2%と目標数値（98%）を下回った。退所による空床枠を短期入所利用により特養新規入所が遅れたりしたが、空床日数を減らすことに努めた。

ショートステイは1日平均 14.0 人（稼働率 95.0%）、新規に利用者 23 名との契約締結が出来た。長期利用と特養の空床利用により利用日数が増え目標数値 13.0 人を達成することが出来た。

今後ご利用者一人ひとりの観察の充実を図り職員間の連携を密にしたサービス支援に努め、稼働率の安定を図りたい。

### (1) 特養入所利用状況及び入退所状況(入所定員 50名→令和4年3月より58名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実人数(人)	48.9	46.2	45.0	47.7	47.2	46.8	48.6	48.0	46.5	45.3	46.9	56.2	478	47.8
稼働率(%)	97.8%	92.3%	90.0%	95.4%	94.4%	93.6%	97.2%	96.0%	92.9%	90.5%	93.7%	96.9%	94.2%	94.2%
延在床数(人)	1,467	1,432	1,350	1,480	1,464	1,405	1,508	1,440	1,441	1,404	1,312	1,742	17,445	1453.7
入院者数(人)	4	8	8	6	7	4	4	3	4	6	1	1	56	
退所者数(人)	1	3	2	1	0	3	2	1	2	3	1	1	20	
入所者数(人)	1	3	1	2	0	2	2	2	0	2	3	8	26	

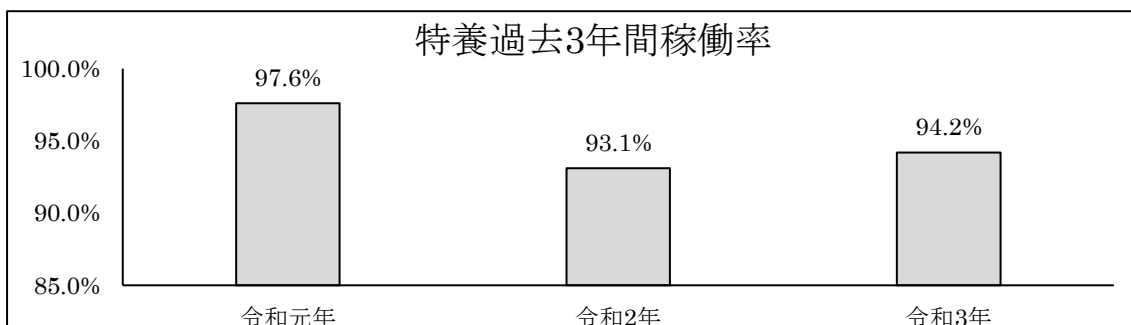


### (2) 空床状況

	R1 年度	R2 年度	R3 年度
入院	308 日	1,133 日	722 日
外泊	4 日	0 日	0 日
退所による空床	119 日	126 日	293 日
合計	431 日	1,259 日	1,015 日
新規入所までの日数	10.8 日	8.4 日	14.7 日

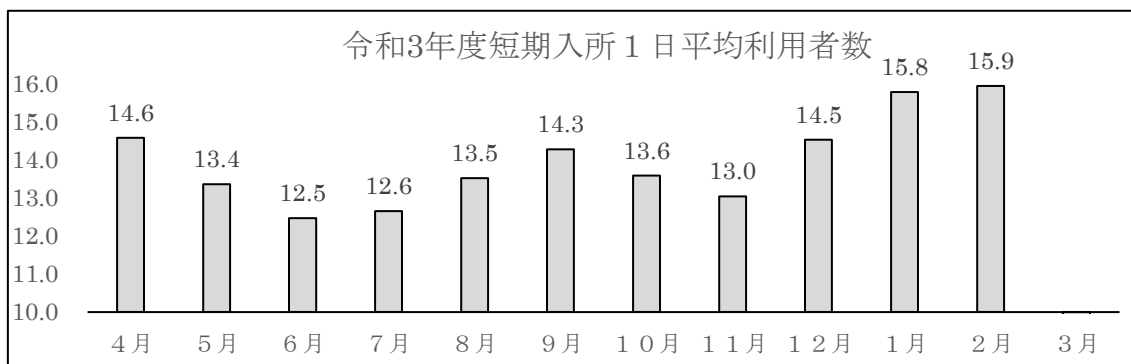
(3) 特養過去3年間稼働率

	R1 年度	R2 年度	R3 年度
人数	48.8	46.6	47.8
稼働率	97.6%	93.1%	94.2%
退所	11	15	20
入所	11	15	26



(4) 短期入所利用状況(定員15名→令和4年3月より7名)

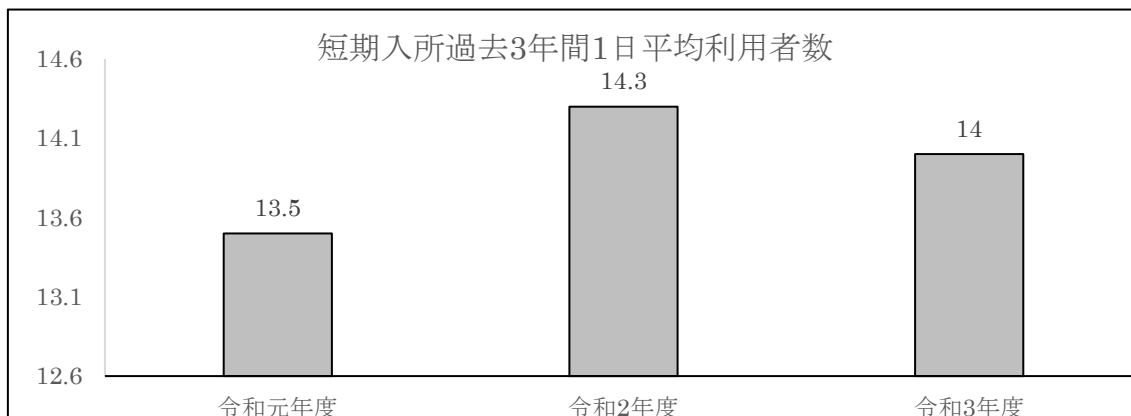
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ人数(人)	437	414	374	392	419	428	421	391	450	489	446	251	4,912	423.7
1日平均(人)	14.6	13.4	12.5	12.6	13.5	14.3	13.6	13.0	14.5	15.8	15.9	8.1	/	14.0
稼働率(%)	97.1%	89.0%	83.1%	84.3%	90.1%	95.1%	90.5%	86.9%	96.8%	105.2%	106.2%	115.7%	/	95.0%
新規契約(人)	0	4	2	3	2	2	2	0	0	5	2	1	23	



\*3月は定員変更のため除く

(5) 短期入所過去3年間1日平均利用者数及び稼働率

	R1 年度	R2 年度	R3 年度
1日平均利用者数	13.5	14.3	14.0
稼働率	89.9%	94.8%	95.0%



(6) 特養入所契約者年齢別人員(R4.3.31 現在)

年齢区分 在籍数		65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳～	平均年齢
		男	9人	0	3	4	
女	47人	1	3	18	22	3	89.9歳
合計	56人	1	6	22	24	3	89.0歳

最高年齢者 女性 110歳10ヶ月      男性 92歳4ヶ月  
 最低年齢者 女性 68歳4ヶ月      男性 74歳1ヶ月

(7) 要介護度別人員(R4. 3. 31現在)

要支援	要介護 1		要介護 2		要介護 3		要介護 4		要介護 5		合計	平均要介護度
0	0	0	15	26	15	56		4.0				
男0   女0	男0   女0	男0   女0	男2   女13	男4   女22	男3   女12							
0.0%	0.0%	0.0%	26.8%	46.4%	26.8%							

(8) 地域別入所状況

入所前住所	雄和地区	河辺地区	旧秋田市	その他	合計
R4年3月31日現在数(人)	54	0	2	0	56

(9) 入退所状況

退所事由 (人)	転院	病院で死亡	施設で死亡	在籍期間	1年未満	1～5年未満	5年以上
	6	4	10		7	8	5
入所前の 状況(人)	在宅(ショート)	老健・グループホーム	病院	入所時 要介護度	要介護3	要介護4	要介護5
	20(18)	6	0		7	12	7

(10) 入所待機者状況 (R4. 3. 31 現在)

男性	37名	女性	114名	合計	151名
----	-----	----	------	----	------

## (11)委員会実施状況

委員会名	開催数
研修委員会	3回
行事企画委員会	7回
給食委員会	6回
感染症対策委員会	7回
褥瘡防止委員会	3回
防災対策委員会	5回
サービス改善委員会	3回
事故防止検討委員会 (発生事故検証会)	5回 (回)
排泄検討委員会	3回
入所調整委員会	2回
医療的ケア対策推進委員会	4回
身体拘束適正化委員会	4回
広報委員会	3回

## (12)内部研修会(職員会議時)

開催月	研修内容
4月	法令遵守と事業方針について
7月	食中毒について
8月	身体的拘束等適正化・虐待防止について
9月	感染症について
10月	看取り介護について
11月	防災・緊急時体制
12月	事故防止について
1月	身体的拘束等適正化・虐待防止・人権擁護について
2月	認知症について
3月	事故防止について

## (13) 会議・行事・ボランティア等の状況

	職員 会議	月例 報告	会議（介護職）	行事・ボランティア等	行事食
4 月	21 日	15 日	各ブロック会議 チーフ会議	夜勤職員検診（22日）	開園記念祝い膳 （1日）
5 月	26 日	20 日			母の日祝い膳 （9日）
6 月	24 日	17 日		民協草刈りボランティア（15 日）	父の日祝い膳 （21日）
7 月	21 日	15 日		七夕喫茶（7日） 入所者一般検診（19日） 入所者結核検診（27日） 夜間想定避難訓練（26日）	七夕祝い膳 （7日）
8 月	25 日	19 日			精進膳 （13日）
9 月	22 日	16 日	各ブロック会議	花の家敬老式（15日） 秋田市指導監査（9日）	敬老祝い膳 （15日）
10 月	20 日	14 日		総合避難訓練（13日）	収穫の祝い膳 （22日）
11 月	24 日	18 日		秋祭り（10日） 専門部会カフェ（30日）	防災訓練食 （9日）
12 月	23 日	21 日		緊急連絡訓練（16日） 秋田市実地指導（22日）	クリスマスラン チ（24日）
1 月	19 日	18 日		新春の集い（12日）	正月祝い膳 （1日）
2 月	16 日	15 日	ブロック会議 チーフ会議		節分祝い膳 （3日）
3 月	30 日	17 日			ひな祭り祝い膳 （3日）

## (14) その他

①介護サービス情報の公表 令和3年11月15日

## ケアハウス花の家

### 【総括】

令和3年度は入居4名、退居4名だった。主な退居理由はADLの低下や体調不良による入院の長期化等、ケアハウスでの自立した生活の継続が困難になったことが多くを占めている。新規入居者についても入居要件は満たしているが、自立生活には入居当初から支援を要する方も少なくない状況であり入居時から介護保険サービスを利用しての生活開始となる方もいた。ケアハウスとは自立した生活を求められる施設ではあるが、近年の在宅介護状況の変化もあってか要介護状態の方や家族の協力が難しい方などからの入居申込みが多くなっている。

今年度も新型コロナウイルスの影響により、入居者の生活にも大きな影響を及ぼした。各行事の内容を変更及び縮小しての実施や外出、面会の制限により家族にも多大なる心配とご迷惑をかけることとなった。施設内の余暇活動など内容を充実させ入居者同士の交流に繋げた。今後も入居者の1日の生活をより一層大切にし、充実した生活への支援をしていきたい。

### 【重点事項】

#### (1) 日常生活の充実について

新型コロナウイルス感染予防により予定した行事等の多くは実施を見送ることとなったが、状況を鑑み感染予防対策を講じながら外出レク等を実施した。

コロナ禍ではあったが多くの入居者から外出レク等の希望の声があったため、可能な限りの感染予防策を取りながらの実施であることを説明し、春の花見ドライブと秋の紅葉ドライブの実施に至った。その他に園芸療法活動として、ケアハウス菜園を活用しての枝豆栽培を試みた。高齢化とADLの低下により畑作業を積極的に行ってくれる方は年を追うごとに減少傾向にあるが、施設内での日常とは違い、大地の上では足取りも軽やかで生き生きした姿が印象的に感じた。播種時と収穫時は、多くの入居者が畑に集合するので、とても賑やかで笑顔溢れる楽しい光景になっている。収穫後には女性の入居者を中心に調理し職員とともに収穫の喜びを味わい相互の親睦を深めることができた。今後も生きがい活動を大切にし、継続していきたい。

施設内余暇活動については、毎日の体操やレクリエーション、折り紙、ぬり絵、パズル等を実施した。また、年末近くには介護支援ボランティアの方による「押し花教室」を開催し全入居者が参加し思い思いの作品を作成し喜んでいた。

#### (2) 生活環境の整備について

施設内の清掃、整理整頓、温度湿度管理の実施に加え、加湿器付き空気清浄機を増台し、入居者が快適で安心できる環境作りに努めた。個々の居室内の冷蔵庫の管理等への声掛けや冷暖房の適切な使用、定期的な換気等の声掛け支援を継続的に実施した。また廊下の壁等を活用して四季の装飾や活動写真の掲示等を行い、季節感を感じ取ってもらえるような工夫をした。

#### (3) 健康観察の充実について

入居者の平均年齢は87.9歳と高齢であり、日常の健康管理が重要とされる。

今年度も夜間や早朝等の職員不在時に体調不良になった方がおり、救急外来受診等を含め状況に応じ迅速に対応した。また多くの入居者（13名中12名）が訪問介護サービスや通所サービス、特殊寝台レンタル等の介護保険サービスを利用。介護支援専門員及び介護保険事業所との情報交換を密にし、健康状態の把握等の適切な管理に繋げることができた。健康管理サービスとして週3回のバイタル測定と月に1度の体重測定を実施し健康状態把握に努めた。また入居者の受診日等を把握し、緊急時や家族対応が難しい入居者については通院介助を実施し入居者、家族の安心に繋げることができた。

体調不良等の状況が続き、介護サービスを利用してもケアハウスでの生活が困難になった時には、家族や介護支援専門員等と相談を行い、本人が安心して過ごすことが出来る他の介護保険施設等への変更等の調整を進めてきた。

手洗い、マスク等の基本的感染予防策を励行し健康管理対策に努めた。幸いにも新型コロナウイルスによる陽性者はいなかった。

## 1 年間行事活動報告

日付	行事名等	内容・場所	参加者
4月 12日(月)	ドライブ（花見）	新屋～牛島～椿台方面ドライブ	5名
13日(火)	〃	〃	3名
19日(月)	買い物＋代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
28日(水)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	12名
5月 11日(火)	買い物＋代行	御所野スーパーセンターアマノ	7名
25日(火)	園芸療法	枝豆播種（湯あがり娘）	2名
26日(水)	コロナワクチン接種	河辺福祉交流センター（1回目）	6名
27日(木)	〃	〃	6名
31日(月)	買い物＋代行	御所野スーパーセンターアマノ	6名
〃	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	9名
6月 2日(水)	園芸療法	ミズ採取、ミズたたき調理	7名
10日(木)	園芸療法	ケアハウス菜園(畝作り、枝豆定植)	7名
16日(水)	コロナワクチン接種	河辺福祉交流センター(2回目)	6名
17日(木)	〃	〃	6名
22日(火)	買い物＋代行	御所野スーパーセンターアマノ	7名
30日(水)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	10名
7月 2日(金)	園芸療法	枝豆栽培管理(除草、土寄せ)	2名
13日(火)	買い物＋代行	御所野スーパーセンターアマノ	7名
19日(月)	健康診断	県保健事業団健診車両	13名
27日(火)	結核検診	〃	13名
29日(木)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	10名
8月 3日(火)	買い物＋代行	御所野スーパーセンターアマノ	8名

	17日(火)	園芸療法	ケアハウス菜園(枝豆収穫、調理)	8名
	24日(木)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	5名
	31日(火)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	10名
9月	13日(月)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	5名
	17日(金)	園芸療法	ミズのコぶ採取、調理	7名
	29日(水)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	9名
10月	5日(火)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
	25日(月)	〃	〃	5名
	26日(火)	園芸療法	干し柿作り	8名
	28日(木)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	12名
11月	16日(火)	ドライブレク+買い物	秋田市内+スーパーセンターアマノ	4名
	17日(水)	ドライブレク	秋田市内巡り(秋の章)	4名
	25日(木)	打ち合わせ会	食堂ホール(次月予定確認等)	7名
	26日(金)	押し花教室	介護支援ボランティアによる	11名
12月	7日(火)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	6名
	〃	押し花教室	介護支援ボランティアによる	10名
	15日(水)	〃	〃	11名
	23日(木)	ケアハウス忘年会	折詰め弁当、ハタハタ鍋、大抽選会	13名
	24日(金)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
	27日(月)	打ち合わせ会	食堂ホール(次月予定確認等)	12名
1月	7日(金)	回想法	縄ない、なまはげケラ編み	5名
	17日(月)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	6名
	27日(木)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認)	12名
2月	8日(火)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	6名
	24日(木)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認)	12名
3月	1日(火)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	9名
	4日(金)	コロナワクチン接種	花の家交流スペース(3回目)	13名
	18日(金)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	6名
	30日(水)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	11名

## 2 全体行事、その他

月 日		行事名	内容・場所
7月	7日(水)	七夕喫茶(全体行事)	交流スペースで装飾、喫茶を楽しむ



7月	14日(水)	避難訓練(夜間想定)	夜間の火災を想定した訓練に参加
9月	15日(水)	敬老式(全体行事)	花の家ホールで節目のお祝いをする(ケアハウスは1名)
10月	13日(水)	総合避難訓練 (土砂災害想定)	土砂災害を想定した避難訓練に参加
11月	10日(水)	秋祭り (全体行事)	花の家交流スペースで喫茶を楽しむ
1月	12日(水)	新春の集い (全体行事)	各ブロックへナマハゲと神主、巫女に扮した職員が訪問し雰囲気を楽しむ

・その他の活動～健康体操 10:00～10:30 茶話会 10:30～11:30 余暇活動 15:30～16:30

### 3 入退居及び入居者状況

#### (1) 入退居状況(入居4名、退居4名)

入居	6/30 (男性1名)	8/30 (女性1名)	10/1 (女性1名)	11/1 (女性1名)
退居	6/8 (女性1名)	8/7 (男性1名)	8/29 (男性1名)	10/27 (男性1名)

#### (2) 年齢別・性別の状況(R3.3.31現在)

区分	男性	女性	計	割合
60～69歳	0名	0名	0名	0.0%
70～79歳	0名	2名	2名	15.4%
80～89歳	3名	3名	6名	46.1%
90歳以上	1名	4名	5名	38.5%
計	4名	9名	13名	100.0%
平均年齢	89.0歳	86.8歳	87.9歳	

#### 4 過去3年間状況

##### (1) 在籍数 (各年度末日現在)

	男性	女性	計
R1 年度	5	8	13
R2 年度	6	7	13
R3 年度	4	9	13

##### (2) 入退居状況 (人)

年度	男性	女性	計
R1 年度 入居	1	1	2
退居	1	2	3
R2 年度 入居	1	4	5
退居	0	5	5
R3 年度 入居	1	3	4
退居	2	2	4

##### (3) 介護認定状況 (各年度末日現在)

	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
R1 年度	0	1	4	3	4	1	0	0
R2 年度	1	0	4	3	5	0	0	0
R3 年度	0	0	4	4	4	1	0	0

##### (4) 年齢別・性別状況 (各年度末日現在)

		60~69 歳	70~79 歳	80~89 歳	90 歳以上	合計	平均年齢
R1 年度	女	0	1	4	3	8	89.1 歳
	男	0	0	4	1	5	
R2 年度	女	0	0	4	3	7	87.4 歳
	男	0	1	4	1	6	
R3 年度	女	0	2	3	4	9	87.9 歳
	男	0	0	3	1	4	

##### (5) 事故・ヒヤリハット件数

	R1 年度	R2 年度	R3 年度
事故・ヒヤリハット	2	0	2
苦情	0	0	0

## デイサービスセンター緑水苑（第一号通所介護）

### 【総括】

令和3年度は1日平均利用者数22.2名と目標値の25名を上回ることが出来なかった。利用中止となった経緯としては、複数回ご利用頂いていた方が骨折や疾病、入所、死亡等が相次ぎ、登録利用者数の減少に繋がった。新規契約者は24名と多くの方と締結出来たが、利用中止された方々は複数回ご利用頂いていたため、新規者で穴を埋めることが出来なかった。体験利用を希望された方は少数ではあったが、本人及び家族から入浴の要望があり、それに沿った対応が高評価を得て利用契約に繋がった。

利用者確保に向け各事業所への渉外活動やデイサービスの利用空き情報を提供した。しかし近年は、短期入所施設や老人保健施設入所など更なる施設入所傾向が高まり在宅介護の厳しい現状が垣間見える。そのため上記活動の成果を維持していくことは容易ではなく、利用者確保の難しさを毎年痛感している。利用者（家族）にサービス満足度調査を実施。利用者からのニーズ等を把握し、職員に周知した上でご利用者には少しでも満足して頂けるように日々支援していきたい。

令和3年度も新型コロナウイルスへの対応に追われた年であった。家庭の事情は様々で陽性者又は濃厚接触者が家族にいることや、他県への往来や親族の帰省等は事業所としては把握が難しく、感染防止対策として家族へ文書を配布しご理解とご協力を求めた。サービス利用前に家庭での検温、マスクの着用、送迎時に手指のアルコール消毒、車内の換気、送迎後には車内の消毒を継続。苑内においても手指消毒、検温、定期的な換気、加湿管理を継続。またデイサービス内の生活様式を見直し、感染対策を行うことで新型コロナウイルス、風邪等（インフルエンザ、ノロウイルス）に罹患した者はいなかった。ただ、全国及び県内において新型コロナウイルスの陽性者が増え続けている。今後、デイサービスから新型コロナウイルスクラスターを出さないためにも、気を緩めず感染対策を徹底していきたい。コロナ禍で行事やボランティアの受け入れに制限があったが、苑内で行える活動、行事を充実させご利用者の笑顔を多く引き出す事が出来た。

### （1）運営基盤の強化

渉外活動を通して他法人の居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターに対して、デイサービスの空き情報をお知らせし利用者確保に努めた。

開設以降より体験利用の受け入れを継続してきた。昨年度までは入浴の要望があったが未契約者の為、入浴の体験はお断りしてきた。しかし、デイサービスを楽しみに来てくれる方が入浴も体験したいとの要望に応える為に今年度から入浴体験も行うようにした。体験された方、ご家族からは高評価を頂き、利用契約に繋がった。体験利用以外でも毎月、複数の新規利用契約締結をした。

利用頂いている方には行事のお知らせや病院受診でお休みの代替日を設ける等、利用者及び家族の都合に応え定期外サービス利用に繋がった。しかし、10月以降に複数回ご利用頂いている方々が自宅での骨折、疾病、入所、死亡等が相次ぎ、登録利用者数が激減し1日平均25人以上の目標値達成が困難となった。

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、苑内で活動できる行事(ドライブ、笹巻作り、縁日、夏祭り、敬老会、職員による演劇、クリスマス会、忘年会等)を行った。また、その時期ならではの山菜を収穫しご利用者に下さりえや塩蔵づくりを手伝ってもらい、懐かしんでもらった。

## (2) ご利用者一人ひとりのニーズに対応したサービス提供

日々の身体状況を確認しながら職員間で情報共有し、安全に過ごしてもらえるように支援した。

## (3) 在宅での日常生活機能向上に向けた個別機能訓練の実施

利用者個々に実施するアセスメントを基に、心身の状態に応じた個別機能訓練計画書の作成、訓練を実施した。

## (4) 職員のスキルアップ

職員会議を通して職員には「利用者はおお客様であること」「利用者に対する寄り添う姿勢」「相手を尊重した接遇」等を説明し意識付けをした。

秋田県内においても新型コロナウイルスの感染が拡大したため、職員の安全を考え外部研修を自粛した。その為、苑内でのオンライン研修の体制作りを行い、積極的に研修に参加した。研修後には伝達研修を行い、職員間の情報の共有を図り専門性を高めた。また、職員の個人面談を実施し研修に対する希望を確認した。職員には出来る限り希望に沿った研修に参加出来るように情報提供を行い、調整を図った。研修の一つとして職員の介護技術習得に向け、職員が講師となり介護技術の習得に取り組んだ。また、リスクマネジメントとして、事例を通して介護事故のリスクを把握し、事故を未然に防ぐための勉強会も行った。秋田南消防署雄和分署の救急隊員を講師として救命講習会を実施した。急変時の基礎知識等、専門性を高めた。

## (5) 非常災害対策の備え

今年度は5地区の地域自治会長と「大規模災害時における地域と事業所との支援協力に関する覚書」を締結。自治会長にも総合避難訓練に参加してもらい、避難誘導等におけるご助言を頂いた。また地域協力体制会議を開催。緑水苑の実情や課題を説明し、情報の共有を図ることが出来た。

総合避難訓練では昨年の反省を活かし、実践に近い内容に見直しを行った。実際に消防署へ連絡を行い、オペレーターとの対応を体験した。また、消火器を使用した初期消火訓練も併せて行った。

利用者の身元引受人等の連絡先、緊急搬送先の一覧をファイル化し車輻に設置。急変時や交通事故時に早期対応に繋がるように職員に周知させた。

## (6) 感染症予防

新型コロナウイルス感染拡大防止のため家族に文書を配布し、感染防止に向けたご理解とご協力を求めた。利用者には家庭での検温、マスクの着用を促し体調管理に努めてもらった。送迎時には手指のアルコール消毒、車内の換気、送迎後には車内の消毒を行った。

来苑時にも手指消毒の実施、検温、定期的な換気、加湿管理にも努めた。苑内でも常時マスクの着用を促した。テーブルの配列を対面形式からスクール形式に変更するなどの感染対策にも努めた。マスク着用を徹底した為、風邪等（インフルエンザ、ノロウイルス）の罹患者は居なかった。

### ○アクティビティ計画（心身活性化のための活動）の評価

屋外の活動は春、秋の外出、苑外の散歩にとどまった。ただ、苑内では日常生活の機能向上に繋がる多彩なプログラムを取り入れた。グループ活動を通して実践し、ご利用者が楽しく過ごす事が出来た。

今年度もコロナ禍にて、ボランティア等の受け入れを自粛せざる得なかったが、昨年度に続き新波保育園児から「クリスマスプレゼントの寄贈」があった。園児の笑顔を見ては涙ぐみ喜ばれていた。

### 1 令和3年度利用状況（定員30名 月～土曜日営業）

	要介護度別利用者数（延人数）							利用者数 (人)	1日 平均 (人)	営業 日数	稼働率 (%)
	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5				
4月	32	52	331	136	52	25	0	628	24.1	26	80.5
5月	27	41	311	138	26	25	0	568	22.7	25	75.7
6月	32	42	338	161	48	23	0	644	24.7	26	82.5
7月	30	43	398	157	42	24	3	697	25.8	27	86.0
8月	29	41	349	140	40	22	0	621	23.8	26	79.6
9月	31	41	340	170	41	17	0	640	24.6	26	82.0
10月	24	34	284	182	41	26	0	591	22.7	26	75.7
11月	20	40	265	184	38	29	0	576	22.1	26	73.8
12月	27	39	246	178	38	32	0	560	21.5	26	71.7
1月	24	33	198	135	34	27	0	451	18.7	24	62.6
2月	24	38	178	133	38	25	0	436	18.1	24	60.5
3月	19	35	181	163	40	25	0	463	17.1	27	57.1
合計	319	479	3419	1877	478	300	3	6875	22.2	309	74.0

2 新規契約件数

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5	1	2	1	1	0	2	2	1	4	4	1	24

3 体験利用者

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	8

4 個別機能訓練加算Ⅰ（イ）（56単位）

単位：回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
296	276	280	334	327	202	491	461	260	108	203	192	3,430

5 運動器機能向上加算（225単位）

単位：回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
15	15	11	12	13	12	11	11	12	11	12	8	143

6 入浴介助加算（Ⅰ）（40単位）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
490	459	545	612	536	562	522	502	483	391	369	407	5,878

7 送迎減算（-47単位）

単位：回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
11	8	7	3	5	1	5	2	6	4	7	7	66

8 地区別実利用者数（令和4年3月末現在）

単位：人

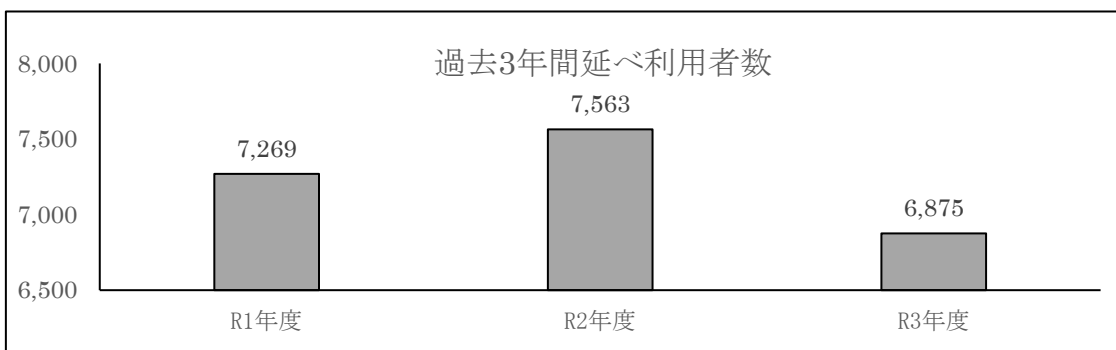
	川添地区	戸米川地区	種平地区	大正寺地区	他地区 (八田・畑谷)	合計
男性	7	5	2	2	1	17
女性	21	10	3	6	0	40
合計	28	15	5	8	1	57

○平均年齢 86.2歳 最高齢者 96歳 ☆最若齢者 62歳

○週間利用回数（3月）1回利用（20名）・2回（17名）・3回以上（20名）

## 9 過去3年間延べ利用者数

	R1年度	R2年度	R3年度
延べ利用者数(人)	7,269	7,563	6,875



## 10 主な行事・アクティビティ活動等の内容

月	行事・アクティビティ活動	今月の歌	実習/ボランティア
4月	グループ活動(塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、ビリヤード、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、制作、外気浴等)誕生会	青い山脈 高原列車はいく	
	4/26-5/1 春の外出ドライブ		
5月	グループ活動(塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、言葉遊び、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、制作、苑庭散策等)誕生会	嫁にこないか ドンパン節	
6月	グループ活動(塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、言葉遊び、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、ビンゴゲーム、キャップ釣り等)誕生会	長崎の夜はむらさき 斉太郎節	
	6/23-6/24 笹巻作り		
7月	グループ活動(塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、ビンゴゲーム、回想法、カルタ、すごろく等)誕生会	憧れのハワイ航路	
	7/22-7/23 夏祭り		
	7/24 総合避難訓練		
8月	グループ活動(塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、ビンゴゲーム、カルタ等)誕生会	東京五輪音頭 花笠音頭	

9月	グループ活動（塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、講話、外気浴等）誕生会	鐘のなる丘 上を向いて歩こう	
	9/23-9/25 敬老会		
10月	グループ活動（塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、外気浴、干し柿作り等）誕生会	旅愁 リンゴの唄	
	10/11-10/30 秋の外出ドライブ		
11月	グループ活動（塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、風船バレー、棒サッカー等）誕生会	夫婦春秋 ドンパン節	
12月	グループ活動（塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ等）誕生会	津軽海峡冬景色 千恵っ子よされ	保育園児交流（新波保育所）
	12/24-12/25 クリスマス会		
	12/29-12/30 忘年会		
1月	グループ活動（塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、カルタ、回想法、書初め、羽子板風船バレー等）誕生会	365歩のマーチ きよしのズンドコ節	
2月	グループ活動（塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、風船バレー等）誕生会	秋田県民歌 一週間に十日来い	
	2/2-2/4 節分		
3月	グループ活動（塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、風船バレー等）誕生会	高校三年生 北国の春	
	3/3-3/4 ひな祭り		

○個別機能訓練

個々の自立した日常生活に繋がるような内容をグループ単位に実施  
（転倒予防体操、口腔ケア体操、手指運動、歩行訓練、生活動作訓練等）

11 会議等

- (1) 職員会議（毎月1回実施）
- (2) サービス担当者会議
- (3) 利用者事前訪問

12 各種委員会

- (1) 研修委員会（計5回開催）



年間計画作成等

①施設内研修

- 5月18日（火）食中毒予防対策について
- 6月22日（火）介護現場における感染症予防対策の基本について
- 7月20日（火）食事介助と誤嚥リスクについて
- 11月24日（水）生活記録の記入、身体の名義と状態・様子の表現について、感染症について

②施設外【伝達研修】

- 8月24日（火）クレーム対応研修
- 9月23日（木）キャリアパス中堅研修
- 10月19日（水）認知症介護基礎研修
- 11月24日（水）キャリアパスリーダー研修、看護職員研修
- 12月23日（木）キャリアパス中堅研修
- 1月18日（火）リスクマネジメント研修（雄和圏域介護事業従事者勉強会）

(2) 機能訓練活動検討委員会（計3回開催）

年間行事や活動計画の策定と実施

- 5月26日～5月1日 春の外出ドライブ
- 6月23日～6月24日 笹巻作り
- 7月22日～7月23日 夏祭り
- 9月23日～9月25日 敬老会
- 10月11日～10月30日 秋の外出ドライブ
- 12月24日～12月25日 クリスマス会
- 12月29日～12月30日 忘年会
- 2月2日～2月4日 節分
- 3月3日～3月4日 ひな祭り会

(3) 保健衛生委員会（計6回開催）

利用者、職員の健康管理と予防対策、食中毒及び感染症予防対策  
(インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルス、消毒、換気等)

【施設内研修】

- 5月18日（火）食中毒予防勉強会
- 6月22日（火）介護現場における感染症予防対策の基本について

(4) 防災対策委員会（計6回開催）

避難訓練1回実施（利用者参加）  
避難誘導確認、危険箇所等確認、暖房機器確認

【訓練】

- 7月24日（土）総合避難訓練、  
地域自治会長との災害時の協力体制会議
- 3月30日（水）地震想定避難訓練

【施設内研修】

- 10月28日（木） 11月11日（木） 救命救急講習会

- (5) サービス改善委員会 (計4回開催)  
 日常の業務見直し改善、コロナウイルス感染予防に伴い業務の見直し  
 ヒリハット報告に基づいた再発防止対策  
**【施設内研修】**  
 ・7月20日(火) 食事介助と誤嚥リスクについて
- (6) 記録検討委員会 (計3回開催)  
**【施設内研修】**  
 ・11月24日(水) 生活記録の記入  
 身体の種類と状態・様子の表現について
- (7) 給食委員会 (計3回開催)  
 ・利用者の摂取状況や嗜好調査等の確認や見直し
- (8) 広報委員会 (計3回開催)  
 ・法人広報誌を編集し発行する。

13 介護サービス情報の公表 令和3年11月15日

14 ボランティア受け入れ状況 (年間受け入れ回数 1組)

名 称 (敬称略)	主な内容
新波保育所	園児よりクリスマスカード寄贈

## 花の家訪問介護事業所（第一号訪問介護）

### 【総括】

訪問介護事業は「長年暮らし続けた地域で老後を」という願いを受けて、各家庭を訪問して身体介護や生活援助を行い在宅での暮らしを支援している。

令和3年度の特徴としては毎月の利用者人数は40人前後。その内、要介護の方が22人から29人と増えたのに対して、要支援の方は年度当初は20人いたが、3月末では9人と早いペースで減少した。この増減の理由としては支援の方が区分変更や更新で要介護に上がったこと。また新屋地区の支援の利用者で総合事業サービスB（有償ボランティア）に移行する方もいた。訪問時間実績は、月平均の時間が昨年度より18時間ほど上回り340時間を維持する事が出来た。新屋地区からの新規依頼を停止。そのかわりに雄和地区の新規が5人ほど増えたことは、移動時間や交通費を考えると良い傾向であった。

新型コロナウイルス感染予防として、訪問前後の際にはマスク着用、うがい、手洗い、予防衣のこまめな交換に努め、自分が感染しない、ウイルスを持ち込まない努力をしてきた。

事業の基本としては、利用者それぞれの状況把握を行い、個別援助計画の基に援助し、毎日の反省と評価や検討を重ね、ヘルパー全員がその解決策を話し合ってきた。常に相談し合う事はそれぞれの自己点検になり、他のヘルパーとの相違点に気づき、援助のすり合わせするという、大事な時間を作ってきた。ヘルパー援助は、入浴介助のスキルから調理の味付けまで幅広い技術力求められ、研修の重要性が挙げられている。公の研修は現在あまり行われていないが、新しい介助方法など検索し研修の一環としている。ヘルパーの目指すところは常に変わらず、利用者や家族に信頼されることであり、一人一人にあった対応ができるヘルパーであり、心の通い合う温かなヘルパーを目指していく。

### 1 介護度別利用者数（人） 平均年齢 83.0歳

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
要介護3	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	3	4	1.3
要介護2	10	10	9	11	11	14	14	14	12	11	11	12	11.5
要介護1	11	11	11	11	11	9	10	11	12	12	13	12	11.1
要支援1・2	20	19	20	18	17	16	15	15	13	12	10	9	15.3
計	42	41	42	41	41	41	41	42	39	38	38	38	40.5

## 2 家族構成別利用者数（人）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
独居世帯	27	26	27	27	25	25	25	25	23	22	21	20	24.4
夫婦世帯	5	5	5	5	5	6	6	7	7	7	7	7	6.0
家族あり	10	10	10	11	11	10	10	10	9	9	10	11	10.0
計	42	41	42	43	41	41	41	42	39	38	38	38	40.5

## 3 介護度別 訪問時間（単位：時間）

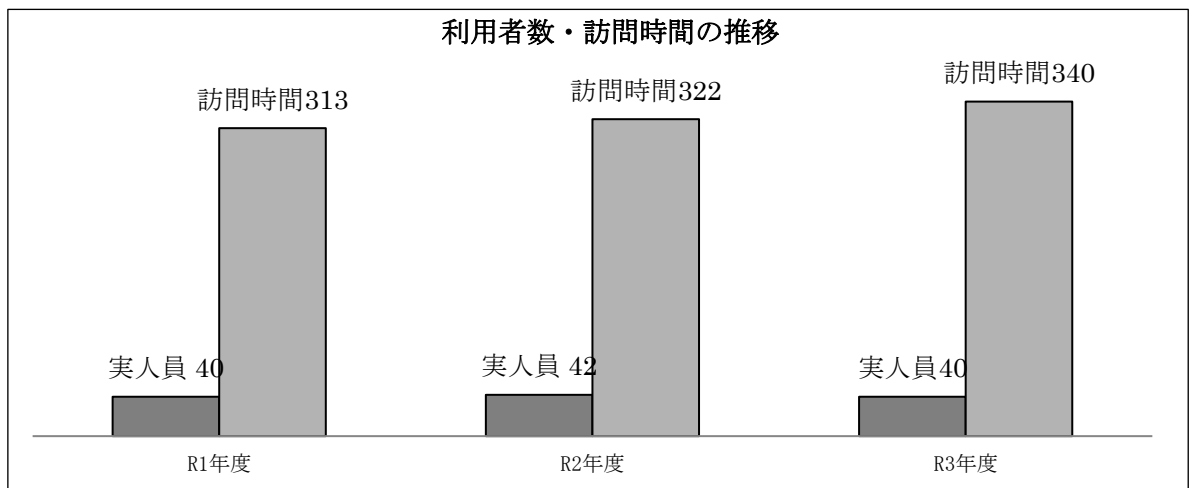
月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 4	26:42	23:44	28:11	34:38	32:38	32:38	30:40	32:38	32:38	31:09	29:40	34:07	30:77
要介護 3	0	0	5:00	4:00	4:00	5:00	4:00	3:00	4:00	7:00	13:00	34:00	6:91
要介護 2	90:29	111:48	104:17	119:44	120:11	150:39	153:39	155:08	137:38	125:40	114:40	127:08	125:91
要介護 1	101:30	98:00	102:30	99:00	99:00	77:30	78:30	88:00	91:30	95:00	95:40	101:20	98:08
小計	218:41	233:32	239:58	257:22	255:49	265:47	266:49	278:46	265:46	258:49	253:00	296:35	257:57
支援1・ 2	109:30	89:20	99:20	97:50	84:05	88:25	75:45	85:30	80:15	72:50	59:10	55:55	83:15
計	328:11	322:52	339:18	355:12	339:54	354:12	342:34	364:16	346:01	331:39	312:10	352:30	340:35

#### 4 活動区分別訪問時間（単位：時間）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
身体介護	56:42	57:17	45:41	49:08	47:08	48:08	45:10	48:08	46:38	45:39	51:40	64:06	50:33
身体生活	108:00	108:30	110:30	129:27	126:52	131:52	130:51	130:51	110:21	109:22	99:52	99:21	116:25
生活援助	53:59	67:48	83:47	78:47	81:49	85:47	90:48	99:47	111:47	107:48	105:28	133:08	90:91
総合事業	109:04	89:20	99:20	97:50	82:05	88:25	75:45	85:30	80:15	72:50	59:10	55:55	83:15

#### 5 利用者数推移（人）と訪問時間の推移（年間平均時間）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
人数	40	42	40
時間数	313	322	340



## 6 職員会議、事業所内研修会

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理及び法令遵守</li> <li>・排泄介助方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情報告、解決に向けて</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問介護員の接遇</li> <li>・洗濯、掃除など援助方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防サービスの対応・援助の仕方</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故発生予防、再発予防について</li> <li>・安全な入浴介助方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故発生等、緊急時の対応</li> <li>・糖尿病の調理</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒の予防及びまん延の防止</li> <li>・管理者、責任者、訪問介護員役割</li> <li>・飲み込み、むせない食べさせ方の研修</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現任研修 認知症対応他</li> <li>・介護マニュアルの見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供責任者不在の緊急時対応</li> <li>・車椅子など移動の介助方法</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価の検討会</li> <li>・従業員法令遵守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルパーが訪問出来なかった時の対応</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改善（利用者の意向、満足度検討）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の改善課題について</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの質についての自己評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の食事づくり</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業者からの相談、意見、苦情対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー保護</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現任研修</li> <li>・教育計画</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護マニュアルの見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症対応</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護計画書、アセスメント（担当確認）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者全体のサービス内容を検討</li> </ul>

## 7 その他

介護サービス情報の公表

令和3年11月15日

## 花の家居宅介護支援事業所

### 【総括】

令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者及び家族が陽性となり休止となったサービス提供事業所があった。そうした中で利用者に不都合がないように各事業所と連携を取りながら支援した年であった。

要介護者のケアプラン作成数では月平均146.7件で目標としていた150件には届くことが出来なかった。3月末での1名の退職に備え1月から職員募集をしていたが、実際に補充できたのは8月になってからである。その間は4人で従事し、ケアマネジャーの受け持ち上限件数を超えないように要介護者の新規相談も件数を考慮しながら対応。また実際にはサービス利用に繋がらないケースもあった。依頼のある時に対応が出来なかったことが利用件数に影響したが、職員補充後は依頼のあった全てについては対応が出来た。

この一年で新規利用者件数では昨年より9件多い54件であった。新規件数が多いにも関わらず、要介護者の総件数は1,761件で、昨年度より29件も少なかった。その要因の一つとして施設への入所者が30件と例年より多かったことがある。令和4年3月に花の家ショートステイ8床を特養に転換したことにより、一度に特養入所件数が増えたこともあげられる。また、亡くなられた方も昨年より多かった。

最近の特徴として、認知症の独居や高齢者世帯の利用者がすぐに施設入所をするのではなく、出来るだけ住み慣れた地域で暮らしていきたいと希望する方も増えてきている。しかし、物忘れの症状からの混乱等により地域で支える難しさに直面するケースも多くみられた年であった。また、ヘルパー利用を希望するが訪問介護事業所に依頼しても、当法人ヘルパーは集中減算の問題、その他事業所は人材不足を理由に雄和地域の対応が難しいと断られたこともあった。

入退院については、新型コロナウイルス病床の関係から入院に繋がらないことや早期退院等の影響もあった。今後も新型コロナウイルスについて細心の注意を行い、感染防止対策に努め、介護サービスの最新情報を得ながら、ご利用者、ご家族が安心してサービスを利用出来るように、情報提供を行い支援していきたい。

### 【重点事項】

#### (1) 居宅サービス計画の作成

利用者及び家族の意向を尊重し、サービス計画の作成を行った。サービス担当者会議の開催は介護認定新規、更新時、サービスの変更時等に都度行った。

#### (2) 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務の受託

包括支援センターから業務受託を受け、介護予防、生活支援サービス事業等の利用について介護予防サービス支援計画の作成に努めた。

#### (3) 関係機関との連携の強化

利用者及び家族に対して保険、医療、福祉についての情報提供を行う。利用者の体調相談や入退院時等での医療連携。コロナウイルス感染予防から（オンラ

インを活用してのカンファレンス開催、本人との面会規制等) これまでの連携から変わってきている。支障なく対応することは出来た。

事業所等とのスムーズなサービス提供のための連絡調整を行った。

#### (4) 職場研修の充実

各介護支援専門員の目標に沿った研修に参加した。また新型コロナウイルス感染予防対策を行っての開催やオンラインによる研修への参加。

#### 1 年間計画作成数

	年間合計	前年比	備考
延べ利用者数 (要介護)	1,761 人	29 人減	月平均 146.7 件
延べ利用者数 (要支援)	61 人	26 人増	月平均 5 件

#### 2 要介護度別利用状況

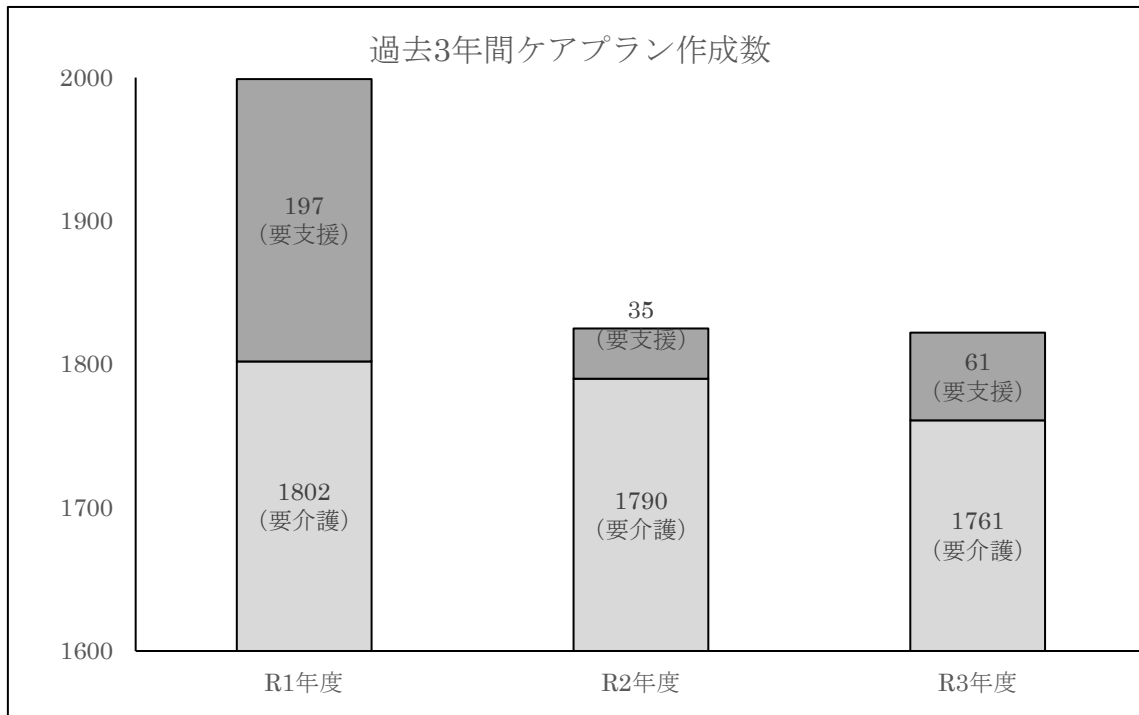
要介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
利用人数 (延べ)	35	26	792	496	233	191	49	1,822
比率 (%)	2%	1%	43%	27%	13%	11%	3%	

#### 3 年間計画作成数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R1 年度	173 (21)	170 (21)	158 (15)	166 (15)	178 (18)	171 (16)	171 (15)	162 (16)	168 (17)	160 (14)	160 (14)	162 (14)	1999 (197)
R2 年度	162 (10)	151 (0)	159 (0)	148 (2)	153 (1)	148 (1)	151 (2)	150 (2)	151 (4)	153 (3)	147 (5)	153 (5)	1825 (35)
R3 年度	155 (4)	152 (4)	149 (4)	146 (4)	150 (5)	156 (5)	151 (6)	154 (7)	156 (4)	153 (6)	155 (6)	145 (6)	1822 (61)



\*総作成数うち（介護予防数）



#### 4 会議、研修等

(1) 職員会議（毎月1回開催）

- ・請求実績、業務実績、連絡確認事項、ケース検討、研修復命、事業内研修

(2) 利用者に関する検討及び伝達（毎朝開催）

- ・利用者に関する情報またはサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達

(3) サービス担当者会議（担当者が随時開催）

- ・年間実績 136件
- ・サービス事業所との連携、サービス内容の確認と検討

(4) 委員会（随時開催）

- ・他事業所と連携しながら活動

(5) 研修

- ・事業所内研修～施設外研修復命報告等 15回
- ・事業所研修～主任介護支援専門員更新研修 他 10回

#### 5 その他

介護サービス情報の公表

令和3年11月12日

## 雄和地域包括支援センター緑水苑

### 【総括】

令和3年度は感染症の対策を講じながら研修会や勉強会を開催するように努めた。介護予防のための活動、介護支援専門員や福祉職のスキルアップのための研修、勉強会、他職種連携、顔の見える関係を構築する会議等もほぼ計画通りに行っている。個別訪問も従来通り行った。

雄和地域包括支援センターは今後も与えられた業務を丁寧に行い、職員自身の援助技術や幅広い知識を身に付け、総合的な判断力を養い、高齢者や地域の方が住み慣れた地域で自分らしい生活が継続できるように役割を果たしていく。

### 総合相談支援業務

相談件数は537件で昨年の507件から30件増えている。介護保険、認知症のこと（症状、医療）の相談は多い。今年度は新型コロナウイルスワクチン接種の問い合わせや被害妄想と思われる相談、60代の生活困窮等の相談があり、継続的に関わる必要のある案件で現在も関わっている。

### 介護予防ケアマネジメント業務

介護予防として、はつらつくらぶ、自主サロンに対し出前講座を行う。

介護予防プラン作成は（要支援1、2）今年度956件（委託を含む）で昨年より46件減っている。介護認定を受けてもサービスを使わず、はつらつくらぶへ参加又は介護サービスと併用されている方もいる。また、申請後あるいは区分変更後に要介護認定を受ける方が多い。

令和3年度からは新規に申請、認定された軽度の方（事業対象者、要支援1、2）が今までのようにデイサービスを利用するのではなく短期集中予防サービス（通所型介護予防・通所C）として3ヶ月、6ヶ月の利用で効果を出しその後は自宅で運動、地域サロンに行くということになっているが雄和まで「送迎する施設がない、自分で通うことが難しいため」従来通りのサービスを利用している状態となっている。

### 権利擁護業務

権利擁護について今年度も研修会を開催した。また、一般の方の方や福祉職を対象に南圏域包括社会福祉士が企画した「シルバーセーフティ研修会」を警察の方とも連携し各包括の3地域で開催した。この企画は次年度も継続する。

### 包括的・継続的マネジメント業務

年度当初に年間計画書を圏域の居宅介護支援事業所に配布し、勉強会や民生委員との意見交換会などおこなった。ケアマネジャーや包括の関りだけでは見えないものや気づきにつながる機会になっている。

そのほか多職種連携の地域ケアネットワーク会議や南圏域包括主催の南部ケアマネ連絡会を行っている。また、秋田東警察署管内さがしてネットワーク会議や声かけ通報訓練も行い、社会資源情報の収集や互いの関係作り、情報共有、顔の見える関係作りを行なっている

### 【食の自立支援事業】

独居、高齢者世帯に向けた「食の自立支援」事業（配食）は現在（R4/4）17名の方が利用されている。令和3年度の延配食数は1,366食（R2/1,344食）、1回の配達は5食～10食と曜日により異なる。週3回利用される方は一日おきの希望が多いので月、水、金に配達数が多くなる。利用者の安否確認や調理負担（介護負担）の軽減に役立っている。

### 【郊外型はつらつくらぶ】

今年度も6ヶ所の会場で月8回開催した。46名（R2/44名）の方が運動や脳トレなど様々なプログラムに取り組んだ。

参加者の高齢化や要介護認定を受けてデイサービスに行くなど参加者が増えない悩みもあるが継続していることで新規の利用者の方が参加している会場もある。「知り合いから誘われて参加する」が利用継続につながっている。また、バス停まで歩けず、はつらつくらぶの参加をあきらめている方の支援も行っているが介護認定など家族支援が必要なこともありすぐには繋がらないケースもある。

### 【高齢者生活支援体制整備事業】

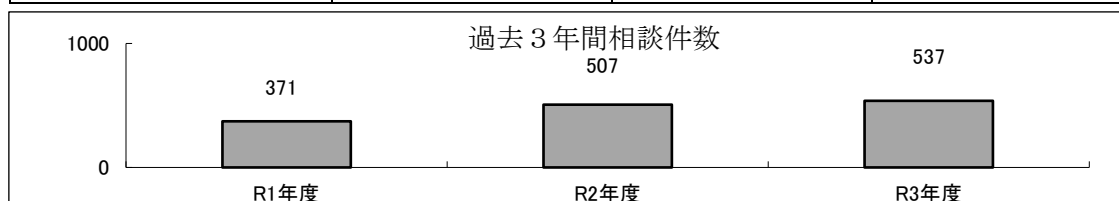
生活支援コーディネーターを中心に活動してきた事業も6年が経過した。居場所や仲間づくりを企画してきた。今年度は住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられる取り組みとして「雄和ボランティアの会」を発足した。次年度から活動を開始する。

男性の居場所と考えて企画していた「健康麻雀」「酒を嗜む会」の開催はなかったが次年度は感染症対策を講じ開催したいと考えている。

## 1 総合相談支援

### (1) 相談件数

	R1年度	R2年度	R3年度
合計	371	507	537



## 2 権利擁護

	R1年度	R2年度	R3年度
成年後見制度利用	0	0	0
消費者被害	0	0	0
困難事例	5	2	0
その他	0	0	0
合計	5	2	0

### 3 地域包括ケア会議

	R1 年度	R2 年度	R3 年度
開催回数	4	4	6

個別ケア会議 3回

地域ケアネットワーク会議 3回

### 4 高齢者福祉サービス等申請代行、地域連携・他職種連携など

	R1 年度	R2 年度	R3 年度
①高齢者福祉サービス等申請代行	145	109	137
②地域連携・他職種連携など	51	13	16

①緊急通報システム、食の自立支援、介護申請ほか ②民生委員など会合ほか

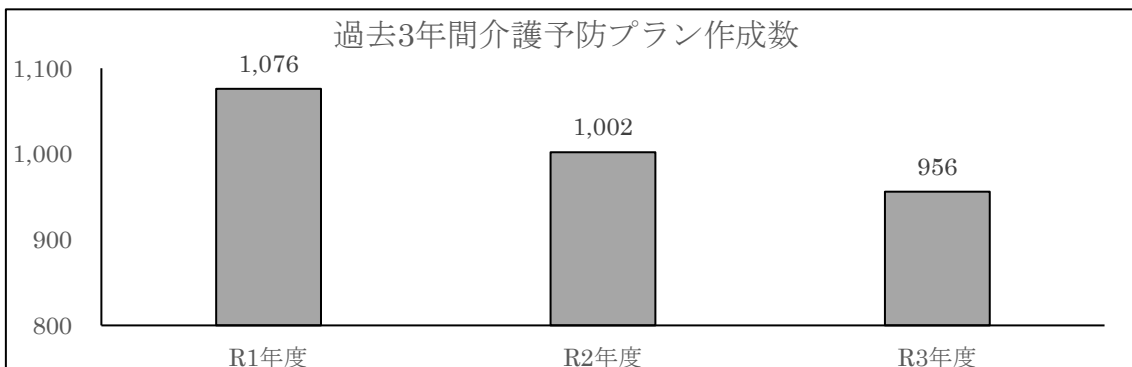
(1) 研修会、地域連携など内容

- ・ 3職種情報交換会、包括/在介連絡協議会研修会、他各種研修会(オンライン有)
- ・ 自主活動グループ講座・はつらつくらぶ出前講座・老人クラブ出前講座
- ・ 雄和地区社協への協力(生き活きの集い:独居者対象事業)
- ・ 民生児童委員定例会(年7回参加)
- ・ 福祉懇談会
- ・ グループホーム運営推進会議(つばき苑2回/年、赤とんぼ0回/年)
- ・ 小規模多機能型施設運営推進会議(えがお0回/年)
- ・ 地域密着型デイサービス運営推進会議\*ゆうわの里(年0回)
- ・ 河辺雄和担当圏域介護支援専門員勉強会(サービス事業所研修会・年1回)

### 5 介護予防プラン作成件数(要支援1、要支援2)

	R1 年度	R2 年度	R3 年度
①プラン作成(延)	1,076	1,002	956
②プラン作成月平均	89.6	83.5	79.6
③プラン委託月平均	26.3	15.3	18.1
③総合事業	607	521	437

\*R3年度 委託事業所は10事業所



## 6 郊外型はつらつクラブ（月8回開催・6ヶ所）

- ・利用者実人数 45名（内男性6名 女性39名）
- ・令和3年度延べ利用人数 911名（前年度 797名）
- ・月平均 75.9名（前年度 66.4名）
- ・1開催あたり 9.4名利用（前年度 8.3名）

## 7 食の自立支援（配食サービス・週3回まで）

\*利用者負担 480円 秋田市委託料 210円（週4回から自費 700円）

### (1) 令和2年度月別配食サービス実績

- ・利用人数は9人～11人の間で変動有り。自費利用も含め複数回利用の方が増えている。

### (2) 過去3年間配食サービス実績

	R1年度	R2年度	R3年度
実人数	138	147	144
延食数	1,202	1,344	1,366

## 8 高齢者生活体制整備事業（生活支援コーディネーター）

### (1) アウトリーチ・ネットワークの構築

（高齢者の居場所や見守り体制の構築）

#### ① オープンガーデン

- ・花壇等への植付け、草取り、交流会、花壇見学会、花の撤去作業、オープンガーデン反省会等 延参加者 42名（R2 72名）

#### ② ウォーキング

- ・月1回 5回実施 延参加者 59名（R2年度 72名）

#### ③ カラオケサロン

- ・4月～3月 月1回開催 第4水曜日 延参加者 46名（R2年度 80名）

#### ④ 健康麻雀 開催なし（R2年度 0回開催0名）

#### ⑤ ペタンク 第1、第3月曜日 延参加者 52名（R2年度 50名）

#### ⑥ 協議体委員会（雄和地区各種団体から構成、計12名）

- ・年4回開催 関係機関とのネットワークを図る
- ・ささえあいボランティア活動会議 3回開催
- ・ボランティア活動説明会 17名参加

### (2) 地域資源の把握や創出（地域住民により地元資源を探り出す）

#### ① ワークショップ

- ・開催なし

#### ② マップ作り

- ・感染症予防のため中止

#### ③ 男性の交流の場

- ・酒を嗜む会 感染症予防のため中止（R1年度 3回 30名）

④陶芸教室（いやしろち窯）

- ・1作品4回実施 延参加者 48名（R2年度 48名）

⑤映画サロン「銀幕のしらべ」（5月、6月、12月、2月、3月実施なし）

- ・7回実施 延参加者219名（R2年度 7回250名）
- ・銀幕カフェ 中止（昨年度も中止。R1年度60名）

（3）地域づくりの意識の統一（地域が一体になり意識の統一を図る）

①PR用広報誌発行

- ・ささえあいだより 年2回発行（12月、3月）雄和地区全戸配布

（4）その他

- ・他圏域地域包括支援センターとの情報交換会及び研修会など
- 生活支援コーディネーター情報交換会
- 秋田市ささえあい活動推進ネットワーク会議
- 南、西圏域コーディネーター意見交換会
- 生活支援コーディネーター研修会